

# 鹿児島純心女子短期大学での 「市長と語る会」発言に対する対応方針

〔開催概要〕

日時: 令和4年12月2日(金)13:35～14:35

場所: 鹿児島純心女子短期大学

令和5年1月

鹿児島市 市民協働課

## 「市長と語る会」発言に対する対応方針

別紙（発言要旨）

日時：令和4年12月2日（金）13：35～14：35  
場所：鹿児島純心女子短期大学

番号	発言者	提案等要旨	市長発言要旨	関係部局	検討結果、今後の方針等
1	学生	<p>タイトル：天文館図書館に来た人に本を読んでもらうためにはどうすればよいか。</p> <p>現状、天文館図書館はセンテラスの4～5階に位置し、訪れるまでが大変である。また、ネット上でのアンケートによると、本を読まない理由は、時間がない、読みたい本がない、本よりテレビやラジオやインターネットの方が面白い、本を読むのが嫌いなどの項目が上位であった。このことから、本と関わる時間が短いこと、図書館へ足を運ばないこと、好きなジャンルや本の楽しさがわかっていないことが課題と考え、本に関心がない方に、天文館図書館で本を読んでもらうには、関心がない人でも惹かれるようなイベント・企画が有効だと考える。</p> <p>そこで、本に関心がない方が本に触れる機会を創出するために、①山形屋周辺の移動図書館の実施、②季節のイベントに応じた図書館内の装飾・フォトスポットの設置③本を借りた冊数に応じポイントを付与し、センテラス内の商業施設などとコラボした特典を検討してはどうか。</p>	<p>フォトスポットを設置するイベントの内容にあわせて本の特集を組んだら良いと考える。</p> <p>また、ポイント制については、悪用の課題を解決できたら、将来的にマイナンバーカードの機能もスマホで利用できるようになるので、貸出カードの機能と連携できたら便利であり、景品についても民間企業から募ることができたら、よい取り組みになるだろうと考える。</p>	教育委員会 総務局	<p>【教育委員会】 市長回答のとおり。 今後も、天文館図書館でのイベント等の実施や、センテラス天文館および天文館地区との連携を行い、より多くの市民にご利用いただけるよう努めてまいります。</p>

## 「市長と語る会」発言に対する対応方針

別紙（発言要旨）

日時：令和4年12月2日（金）13：35～14：35  
場所：鹿児島純心女子短期大学

番号	発言者	提案等要旨	市長発言要旨	関係部局	検討結果、今後の方針等
2	学生	<p>タイトル：仕事と家庭生活の両立のための支援策</p> <p>日本では諸外国と比べて男性の育休取得率が低く、育児についての負担が女性に偏っており、女性の出産後就業率も低い。厚生労働省の調査によると、女性が出産後に仕事を辞めた主な理由は、家事・育児に専念するためであった。このことから、勤務形態の柔軟さやパートナーの育児への関与、制度の不十分さが課題である。また、民間企業の意向調査では、平成29年度に育休取得を希望する男性の割合は80%程度であったが、取得率は令和2年になって初めて2桁の12パーセントに到達しており、理想と現実のずれが大きい。</p> <p>そこで、日本でも男性の育休の取得率をあげるために、①北欧諸国にならい、パパ・ママ・クォータ制度(*)を導入する、②高校での授業など、若い頃から育休の制度について知る機会の設定を検討してはどうか。</p> <p>※パパ・ママクォータ制度・・・育休の一定期間を父親に割り当て、父親が取得しなければ休暇や給付金をもらえる権利が消滅する制度。</p>	<p>国内の企業全体での取り組みが必要で、子育てが終わった世代を含め、国民全体の合意が必要である。特に、育休中の収入保証に課題があり、企業が負担するのか、国が負担するのか問題になる。</p> <p>高校の授業で育休について取り組むことは、すぐにでも実施できそうな取り組みだと考える。</p> <p>また、育休の取得率上昇は、待機児童の解消にも重要である。育休を取得すれば自宅で子育てができるが、育休を取得できずに子どもを預けようとする、それだけ保育士の人手がかかる。保育士の配置基準により、2歳時や3歳児よりも0歳児の方が子ども一人に対し、より多くの保育士を必要とする。育休の取得促進が進めば、より多くの2、3歳児を見ることができるようになる。</p>	<p>市民局 こども未来局 教育委員会</p>	<p>【市民局】【こども未来局】 市長回答のとおり。</p> <p>【教育委員会】 育児休業については、中学校技術・家庭科（家庭分野）や高等学校家庭科総合の教科書で取り上げられており、男女が協力して、家族の一員として役割を果たし、家庭を築くことの重要性について授業で扱う中で、男性の育児休業取得についても学習しているところです。</p>